

スリー

3 チャレンジ～思いやり 前向き 楽しく～

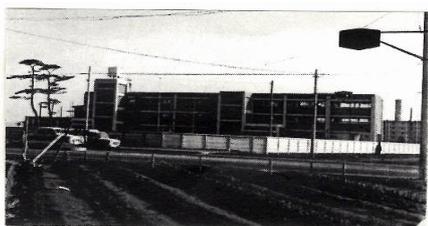
～子どもたちの健やかな成長を支える～

東 麻子

1. 高砂小学校のあゆみ

高砂小学校の開校は、1964年（昭和39年）。辻堂小学校から分かれました。9月26日にできたての高砂の校旗をもって、ピカピカの校舎に向かって歩いたそうです。初年度の児童数は1～5年生196名との記録が残っています。

最初の校舎の写真には、高砂小学校の歌（校歌）に出てくる「ときわ松」も校庭に2本見えます。1974年（昭和49年）4月6日朝方の強風で、西側の1本が折れ、残る1本も朽ちて危険なため、伐採しました。1969年（昭和44年）には、前年度より4学級増え、33学級、最大児童数1286名になったため、翌年浜見小学校が開校となりました。



最初の校舎



9月26日 高砂小に向かう行進

辻堂団地ができる少し前までは、230年もの間、鉄砲の練習場として使われていた砂丘でした。今では、県立の海浜公園や辻堂市民センター・公民館、消防署、高浜中学校や浜見小学校、白浜養護学校や大学・附属高等学校が隣接する環境です。辻堂地区は、この住みよさから人口増の傾向があります。

今年2023年（令和5年）4月には、第60回入学式を行い、125名の1年生を迎えました。全校では、昨年度よりも2学級多い21学級、児童数639名で新年度が始まりました。

学校教育目標は、「心身共に健康で自ら考え、正しく判断し、自主的で創造性豊かな児童を育成する」というもので、めざす子どもの姿は、たかすなの4

文字を生かして

(た) 他を思いやる子

(か) 体を鍛え、安全に過ごせる子

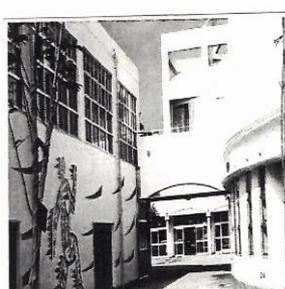
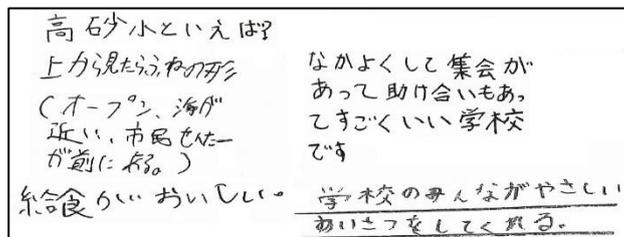
(す) 進んで学び、深く考える子

(な) 仲良く、力を合わせ最後までやりぬく子

としています。また、題名の「3チャレンジ」は、今年度の代表委員会の目標です。「思いやり」には、協力・助け合い・あいさつ、「前向き」には、元気・明るさ、「楽しく」には、やる気・勇気、ポジティブな気持ちを大事していこうという思いを子どもたちが込めました。

2. 高砂小といえば・・

昨年着任まもなく、児童に「高砂小といえば・・」と聞いたところ、校舎についての回答が一番多くありました。転校生でなければ、高砂小学校しか知らないのですが、オープン教室の特徴をプラスに受け止めていました。



新校舎（竣工時）

校舎のいろいろな場所に、新校舎改築（1995年（平成7年））当時の学校や子どもたちへの思いや願いをたくさん想像できます。職員室は校務センター、体育館はアリーナと呼ばれます。図書室は本のひろばで、上履きを脱いで入り、ベンチ型の椅子や床に

座って、本と親しむ雰囲気を醸し出しています。1学年3クラスを基本とした設計で、廊下の代わりにオープンスペースに学年全員が簡単に集うことができます。コロナ禍においては、換気や机の間隔を広くとるのに役立ちました。

市内に2校しかないオープン教室の学校で、オープンの良さを生かした教育活動に努めています。異学年交流や、集会活動を積極的に取り入れることで、自然と人とやさしく接したり、助け合ったり、協力することを学んでいるように感じます。子どもたちがのびのびしているのはオープン教室の影響もあるかもしれません。

3. 高砂小学区PTA

全国で唯一「学区PTA」と称する社会教育団体です。「子どもの教育は学校のなかにおいてだけでなく、家庭を含めた地域社会においてもなされている」という考えのもと、本PTAは、「学区」と呼ばれる地域社会を基盤とする組織を意識し、昭和45年に発足しました。これまでも学年PTA行事なども実施し熱心に活動してきました。本部代表委員を中心に子どもたちや学校のために尽力くださっています。最近、加入率の低下が課題となってきて、多くの保護者に加わってもらえるよう、これまでの組織や活動について見直し、いろいろな工夫や試行を取り入れ、よりよいPTA活動をめざしているところです。

4. 学校運営協議会 コミュニティ・スクール

昨年度、辻堂地区で初めてコミュニティ・スクールとなりました。現在13名の委員の方々と「地域とともにある学校」として地域と連携・協力する教育活動の具体的な内容を検討し、取り組み始めました。

・学習活動へのボランティア

5・6年生のミシン学習の見守りを地域の方にお願ひしています。保護者にも合わせて依頼し、支援を広げています。

・ベルマーク・テトラパックの回収

これまでも校内だけでなく地域の協力をいただいていたのですが、地域へ学校の取り組みを紹介する便りを配布したところ、徐々に回収量が増えています。

・おはようボランティアの公募と見守り

不審者情報をきっかけに地域での見守りの強化をしていただいています。登下校のボランティア登録者も少しずつ増えています。

・辻堂市民センターでの児童作品展示

授業の作品を市民センター2Fのギャラリーに掲示して、地域の方に児童の学習成果を見て、知っていただこうと考えました。親子や家族で掲示を見に出かける姿が見られました。校内でも他学年の作品を見合ったり、関心を持ったり、認め合ったりして、予想以上のよい効果を感じています。



TSUJIDO ギャラリー 児童作品展示

・学習発表会

6年生の音楽発表会の一部をアリーナで地域の方にも公開する取り組みを試行しました。短い時間でしたが、子どもたちの自信にもなりました。

これからも、地域と連携する取り組みを通して、子どもたちの地域を大切に思う気持ちも育みたいと思います。



学習発表会（音楽）2022年11月

5. 創立60年を間近に

思いがけず、小学1・2年生を過ぎた高砂小に約50年ぶりに勤務することになり、懐かしさとともに不易と流行を目の当たりにしています。

地域の学校として、地域や保護者の皆様と高砂小のすべての子どもたちの健やかな成長を願って、これからも共に力を合わせていくことが不可欠です。学校も地域理解を深め、地域の方や保護者との信頼関係をさらに築いていくよう努めることが、教育活動の充実につながっていくのを実感し、教育実践を進めていきます。

(ひがし あさこ・藤沢市立高砂小学校長)

2023.8 「ふじさわ教育」第187号より